

プラスチック問題

前田 優有

私は、プラスチックの中でも、ビニールぶ
くり、ペットボトルをよくつかいます。その
二つは、すぐにほかしてしまいます。海や川
などに捨てると、海の生き物がクラゲなどに
きちがえて食べてしまふということを聞きました。
でも、地球温暖化などで、島の土地
が下あつていつた人たちは、島にながれつ
たペットボトルなどのゴミで新しい土地をつ
くって生活しているとも聞きました。

もし、しょう来ゴミの上で生活しなければ
ならなくなつたり、空気もよごれてくさいし、
変な病気もはやつてしまふと思います。

今、ふえ続けているプラスチックゴミをへ
らす方法はなにか身近な人に聞いてみると、
いろいろ、自分でできそうなことがあります。
たとえば、ペットボトルではなく、水
そうちを使う。買い物では、ビニールぶくりで
はなくエコバッグをつかう。ゴミは分別して

出し、リサイクルできるものはする。などの
意げんが出きました。

さらに、プラスチックがなない時はどうして
いたのか、おばあちゃんに聞いてみました。
ジュースや牛乳はビンに入れて、食べも
のをつつおものには、竹のかわやばらんの葉な
ど自然のしよく物を利用し、豆ふはおなべを
もってかいに行き、プラスチックは利用して
いなかった。

私は、禁^ツばで食べ物をつつおな人であり

えない、昔話の中だけだと思っっていたのでび
っくりしました。私恣あたりまえと思っ
たことは、昔の人にとったらありえない、私
は、人間は楽をした^い動物なんだと思いまし
た。

これから私は、自分にできることをたくさ
んして、プラスチックゴミをへらしたいと思
います。

① 前田 優有

② 四年 十才